

2021年1月29日

### 春節移動のPCR陰性証明、農村部が対象

新型コロナウイルスに対応するため、中国国務院は、疫病予防制御チーム、中央農村作業指導グループと共同で、「春節前後における農村地域の新型コロナウイルスの予防と管理の提案」を発表しました。提案には、農村部に帰省する人は必ず帰省前7日以内にPCR検査を受けて陰性の証明を取得し、帰省中も、14日間は在宅健康モニタリングを実施し、この間に、「集まらない」、「不要不急の外出はしない」、「移動しない」、「7日間ごとにPCR検査を受ける必要がある」、と提案しました。

中国国家衛生健康委員会は、「感染拡大の範囲が広く速度が速い。さらに春節が近づき、人の動きや集まりが増えれば、拡大の速度がさらに上がってしまう」と指摘し、農村地域にまで住民全員のPCR検査ができる体制を整えたとし、春節期間に帰省したい人は7日以内に必ず自ら検査を受けるよう求めました。

1. 帰省前にPCR検査陰性の証明を取得する必要があるのはいつからですか？  
春節（2月12日（金））前後の、1月28日から3月8日までが対象です。
2. 提案に記載されている「帰省者」とはどのような人が該当しますか？  
外地から故郷の農村地域に帰る人で、主に下記の三種類の人が該当します。
  - A. 別の省から帰省する人
  - B. 同じ省内の中高リスク地域から帰省する人  
(原則として、中高リスク地域の住民は移動できません。)
  - C. 同じ省内で、輸入冷凍食品の作業員、港で直接に輸入品と接触する作業員、隔離場所の作業員、交通機関の従業員などで、帰省する人。
3. 帰省する前の、PCR検査陰性の証明はどうやって取得しますか？  
帰省者は、PCR検査の資格を持っている医療機関、疾病管理機関、または第三者の検査機関で、帰省前7日間以内のPCR検査陰性の証明、または7日間以内のPCR検査陰性の情報を含む健康通行の「緑」コードを取得すれば故郷に帰ることができます。
4. PCR検査陰性の証明をチェックする責任者は誰ですか？  
帰省者は帰省する前に帰省先の農村委員会に連絡する必要があります。故郷に着いたら、帰省先の農村委員会が7日間以内のPCR検査陰性の証明、又は7日間以内のPCR検査陰性の情報を含む健康通行の「緑」コードについてチェックします。

5. PCR 検査陰性の証明を持って帰省する人は、隔離の必要がありますか？

隔離の必要はありませんが、14 日間の在宅健康モニタリングの必要があります。

体温検査、症状の観察を実施して、各種の集団活動に参加せず、会食もせず、集まりもせず、外出する時には感染予防対策をしっかりとすること、第7日目と第14日目に各1回のPCR検査を受ける必要があります。

故郷に滞在する期間が14日未満の場合には、滞在期間に基づいて、在宅健康モニタリングとPCR検査を実施することになります。

以上